

平成27年度
社会福祉法人川南町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人川南町社会福祉協議会

平成27年度 社会福祉法人川南町社会福祉協議会 事業報告

社会福祉をとりまく現状としては、社会福祉法の改正法が平成28年4月3日の第189回通常国会にて成立交付され、組織機構も強化されるようになってきています。社会福祉法人の社会貢献・福祉サービスへの再投下や、公益性を担保する財務規律の強化がうたわれています。川南町社会福祉協議会では、制度のはざまにある生活困窮者や独居老人等に対応するために、町行政当局のご理解のもと県内で初めてのコミュニティソーシャルワーカーを配置し、これらの課題解決に取り組んできたところでございます。また、介護保険法改正に伴い、地域支援を立ち上げるべく生活支援コーディネーターも配置し、その準備に様々な地域団体に協力を得ながら進めているところでございます。

平成27年度は、町が策定する地域福祉計画、社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画を見直す年になっており、町・社協が一体的策定をとということで「平成27年度川南町地域福祉総合計画」を町民の協力のもと策定されたところでございます。地域福祉とは、誰もが住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、地域住民や社会福祉法人、ボランティア、行政など様々な機関・団体などが強調し、「自助」「互助」「共助」「公助」の考えに基づいて支えあい、助け合える社会を築いていくことです。また、社協の活動状況をより広く知っていただくためにホームページの開設を行い「見える化」を図ってきました。

このように平成27年度は、新しい取り組みの中で事業計画に基づき活動をいたしましたので報告をいたします。

		<p>議案 ・ 社協職員給与規程の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社協臨時職員等の勤務条件に関する規程の一部改正について ・ 訪問介護員（登録ヘルパー）就業規程の一部改正について ・ 平成 27 年度社協一般会計資金収支 3 次補正予算について ・ 平成 28 年度社協事業計画並びに一般会計資金収支予算について <p>3 評議員会</p> <p>第 1 回</p> <p>期日 平成 27 年 5 月 26 日</p> <p>場所 川南町公民館大ホール</p> <p>議案 ・ 理事・監事の選任について</p> <p>第 2 回</p> <p>期日 平成 27 年 5 月 26 日（火）</p> <p>平成 26 年度社協事業報告及び一般会計資金収支決算報告の承認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度社協一般会計資金収支 1 次補正予算について ・ 定款変更について ・ 社協決裁規程を定めるについて <p>第 3 回</p> <p>期日 平成 27 年 6 月 17 日（水）</p> <p>場所 川南町公民館大ホール</p> <p>議案 ・ 理事の選任について</p> <p>第 4 回</p> <p>期日 平成 27 年 10 月 26 日（月）</p> <p>場所 川南町公民館大ホール</p> <p>議案 ・ 平成 27 年度社協一般会計資金収支 2 次補正予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事・監事の選任について ・ 社協福祉サービス苦情相談業務要綱の承認及び第三者委員の承認について ・ 定款の一部変更について <p>第 5 回</p> <p>期日 平成 27 年 11 月 5 日（木）</p> <p>場所 川南町公民館大ホール</p> <p>議案 ・ 地域福祉総合計画策定について</p> <p>第 6 回</p> <p>期日 平成 28 年 3 月 28 日（月）</p> <p>場所 川南町公民館大ホール</p> <p>議案 ・ 社協職員給与規程の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社協臨時職員等の勤務条件に関する規程の一部改正について ・ 訪問介護員（登録ヘルパー）就業規程
--	--	--

		<p>の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none">・ マイナンバー等取扱規程の制定について・ 平成 28 年度社協事業計画並びに一般会計資金収支予算について
--	--	---

<p>(拠点区分) 地域福祉事業 (サービス区分) 地域福祉推進事業</p>	<p>1 社会福祉事業の 企画・実施 2 社会福祉における調査・研究 3 各種団体事務及び育成</p>	<p>【金婚式の開催】 期日 平成 27 年 12 月 17 日 (木) 場所 竹乃屋 3 組</p> <p>【地域福祉推進会議の開催】 第 1 回 期日 平成 27 年 4 月 16 日 (木) 場所 包括支援センター 協議事項 ・ 地域包括支援センター行動計画 ・ 生活支援コーディネーター行動計画 ・ コミュニティソーシャルワーカー行動計画</p> <p>第 2 回 期日 平成 27 年 5 月 20 日 (水) 場所 地域包括支援センター 協議事項 ・ 広報活動、事業周知 ・ 地域支援 ・ 個別支援</p> <p>第 3 回 期日 平成 27 年 6 月 17 日 (水) 場所 地域包括支援センター 協議事項 ・ 徘徊模擬訓練について ・ 生活支援コーディネーター進捗状況について ・ コミュニティソーシャルワーカー進捗状況について</p> <p>第 4 回 期日 平成 27 年 7 月 15 日 (水) 場所 地域包括支援センター 協議事項 ・ 徘徊模擬訓練について</p> <p>第 5 回 期日 平成 27 年 8 月 19 日 (水) 場所 地域包括支援センター 協議事項 第 3 回・ 4 回に引き続き徘徊模擬訓練について・ 進捗状況について</p>
---	--	---

		<p>・川南町居場所機能型拠点整備事業について</p> <p>第6回 期日 平成27年10月28日(水) 場所 地域包括支援センター 協議事項 ・徘徊模擬訓練について ・身元引受人の問題について ・川南町居場所機能型拠点整備事業について ・進捗状況について</p> <p>第7回 期日 平成27年12月16日(水) 場所 地域包括支援センター 協議事項 ・徘徊模擬訓練について ・進捗状況について</p> <p>第8回 期日 平成28年1月25日(月) 場所 地域包括支援センター 協議事項 ・徘徊模擬訓練について ・進捗状況について ・社会福祉法人連絡会について</p> <p>第9回 期日 平成28年3月15日(火) 場所 地域包括支援センター 協議事項 ・地域福祉推進会議のあり方 ・生活支援コーディネーターの報告 ・コミュニティソーシャルワーカーの報告 ・川南町社会福祉法人連絡会について報告</p> <p>護国神社奉賛会協力 秋季大祭 平成27年11月23日 参加者190名(スタッフ含む)</p>
--	--	---

	<p>民生委員法及び民生委員信条に則り社会福祉の増進と会員相互の連携・親睦を図ることを目的とし、資質向上のための研修・視察を行う</p> <p>社会福祉の増進への貢献、低所得者層の世帯の更生に関する指導助言とその構成を図る。</p> <p>会員の教養を高め自立厚生を図るとともに相互扶助と団結により母子寡婦福祉の増進を図る。</p> <p>川南町長寿会綱領に基づき、心身の健康保持や社会福祉の向上、高齢者としての教養を高める等の活動</p> <p>地域社会において障がい者一人一人が安心して生活を</p>	<p>【民生委員児童委員協議会】 定例会、運営委員会（毎月） 県外研修 7月 大分県竹田市 「暮らしのサポートセンターりんどう」 町外研修 10月 県危機管理課 「災害に対する備えと避難」</p> <p>【社会福祉委員会】 社会福祉委員会（年2回） 町外研修 平成28年1月26日 日本赤十字社宮崎県支部 「日本赤十字社の役割と災害対応について」</p> <p>【母子寡婦福祉協議会】 ふれあい遠足会-台風の為中止 郡母子寡婦会（年2回） 郡母子寡婦さわやかスポーツ大会 都農町体育館</p> <p>【長寿会連合会】 役員会・運営委員会（毎月） 女性部長会（年6回） 各種研修 6月 児湯老人クラブ交換研修会 （高鍋町中央公民館） 7月 九州地区老連リーダー研修会 （宮崎市観光ホテル） 町老連リーダー研修 （大分県臼杵市） 8月 シルバーボランティア研修 （西都市社会福祉センター） 他各種行事・各種事業</p> <p>【障がい者自立支援協議会】 役員会の開催 平成27年6月24日（水）</p>
--	--	---

<p>(サービス区分) 社会福祉大会事業</p>	<p>送るために関係機関団体及び障がい者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者等の相互の連携を図ることにより、障がい者への支援体制に関する課題についての情報の共有化と支援体制整備を図る</p> <p>赤十字の博愛、人道の精神に基づき、団員相互の親睦を図り、友好を増進し、文化的教養を高めると共に、社会奉仕を通して赤十字の理想実現を図る</p> <p>多様化・深刻化する福祉課題の解決に向けて、行政と社会福祉法人と協働して公益的な活動の取組や互いの事業展開や意向を踏まえ、地域の福祉課題を共有し実現可能な取組をする</p> <p>現在の複雑多様化した福祉課題の解決には、公的サービスによる支援だけでなく、これまで以上に地域福祉推進の担い手としての地域住民の理解と協力、主体的参加と行動が求められている。そこで、長年、地域福祉の推進に寄与し、特にその功績が</p>	<p>総会の開催 平成27年7月7日(火) 協議会の開催 平成27年12月15日(火) ・クリスマスボランティアについて ・障がい者福祉のしおりについて ・ワンストップ総合相談について 川南町障がい者なんでも相談所開設 平成28年3月4日(金) 川南町公民館</p> <p>【赤十字奉仕団】 運営委員会(隔月) 役員会随時町外研修 8月 門川町 献血活動 町内施設慰問 12月</p> <p>【社会福祉法人連絡会】 設立準備会 期日 平成28年2月26日(金) 場所 川南町公民館(会議室) ・社会福祉法人連絡会の趣旨説明 ・会設立について--全員一致で同意 川南町社会福祉法人連絡会(第1回) 期日 平成28年3月11日(金) 場所 川南町公民館(会議室) ・連絡会要綱について ・役員選出</p> <p>【第58回社会福祉大会の開催】 期日 平成27年6月7日(日) 場所 サンA川南文化ホール 開会行事 表彰状及び感謝状贈呈 講演 ・谷口尚太郎氏 「あなたの体は縄文人・糖尿病の話」</p>
--------------------------------	--	--

<p>(サービス区分) 地域福祉ネットワーク事業</p>	<p>顕著である方に対して、感謝の意を表するとともに、社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉のおかれている状況を見つめなおし、これからの社会福祉のあり方を考える。</p> <p>制度の狭間にある人の支援、地域とともに地域課題を解決する仕組みづくりを図っていく。コミュニティソーシャルワーカーを設置し、地域における生活困窮者支援のための共助の基盤づくりを推進する</p>	<p>【地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会や個人事業所等の福祉領域外との連携を強化し、「つなぎ就労」「食糧支援」を図り、新たな生活困窮者支援の仕組みを構築できた。 ・ 生活困窮者支援の「見える化」福祉情報誌「どんげね」の発行 2,000部 ・ 福祉事務所との連携 ケース会議の開催 10回
<p>(サービス区分) 福祉サービス利用援助事業</p>	<p>総合相談事業 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な者が自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助を行うことにより、その者の権利擁護に資する</p>	<p>福祉サービス利用の援助 日常生活に必要な手続きの援助 日常のお金の出し入れの援助 大切な書類等の預かり 年間相談件数 認知症 48件、知的障害 48件 精神障害 34件、その他 25件 合計 155件 実利用者数 認知症 9名、知的障害 6名、 精神障害 6名、その他名 合計 24名</p>
<p>(サービス区分) ボランティアセンター事業</p>	<p>小中学校の児童生徒を対象に社会福祉へ理解と関心を高め、思いやりとやさしさ、社会奉仕・社会連帯の精神を養い、福祉体験・交流活動を行う。 児童生徒を通じて家庭や地域社会への社会福祉の啓発を図る</p>	<p>【社会福祉推進校事業】 各学校の主な実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 川南小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会と視覚障がい者の話 ・ 福寿園訪問 ・ 国立病院機構宮崎病院のぞみ病棟へのビデオレター ・ 出前環境学習

高齢者や障がい者の疑似体験等
及び交流事業を実施することにより
福祉の心を育てる

- ・ふれあい参観日
 - ・共同募金活動
 - 2 通山小学校
 - ・花いっぱい運動
 - 校庭・花壇づくり、管理
 - 3 東小学校
 - ・田植え、稲刈り
 - ・秋季運動会
 - ・ふれあい活動
 - ・美化活動
 - ・あいさつ運動
 - ・花いっぱい運動
 - 4 山本小学校
 - ・花いっぱい活動
 - ・昔の遊び体験活動
 - ・ふれあい活動
 - ・養護老人ホーム訪問
 - 5 多賀小学校
 - ・国中生と校区内のゴミ拾い、空き缶拾い活動
 - ・交流活動——そば打ち
 - ・福祉に関する調査、発表
 - 6 唐瀬原中学校
 - ・地域交流学习
 - 川南の歴史
 - 「匠の技に学ぶ」
 - 7 国光原中学校
 - ・学級花壇整備
 - ・立志式記念講演会
 - ・卒業式場飾り
- 【福祉体験事業】
- 1 川南小学校 H27.5.13 80名
 - ・講話「障害を持たれている方の体験談」
 - 「自分たちにできる福祉とは」
 - ・ゴミ袋シール貼
 - 2 唐瀬原中学校 H27.7.2 99名
 - ・地域交流学习 「先人に学ぶ」

夏休み期間中、小学校高学年を対象に福祉体験学習を行い、福祉に対する理解を深め、福祉に関するリーダー的な役割を担う児童の育成

ボランティア団体、一般住民等を対象に視覚障がい者のためにごみ袋にごみ分別のためのシールを貼り、ボランティアの普及を図る

聴覚障がい者等への福祉ボランティアとしてそれらを担う手話奉仕員養成を行う

災害ボランティアセンター運営研修の実施

災害が発生した場合、社協には、災害ボランティアセンターの設置、通常業務とは異なる様々な対応を迅速かつ適切に進めることが求められる。市町村社協職員と県社協連協災害支援プロジェクトチーム、関係機関が相互に学びあい、町内のボランティアを含めたセンター運営研修を実施

【小学生サマー福祉体験事業】

期日 平成27年7月28日～29日 9名
平成27年8月4日～5日 16名

- ・ 車いすで買い物
- ・ 手話体験
- ・ 調理実習（非常食体験）
- ・ 人権学習

【みんなにやさしいごみ袋事業】

年間を通し、実施 延べ500名
宮崎県のユニバーサルデザイン大賞を受賞

【手話養成講座】

期間 平成26年4月～28年3月
場所 川南町公民館
内容 手話における基礎的な学習
講座終了者 5名

【平成27年度災害ボランティアセンター運営研修会】

期日 平成27年11月24日～25日
場所 川南町農村環境改善センター
主催 県社協・川南町社協・県社協連
災害想定 平成27年11月6日午前0時17分 南海トラフ マグニチュード9
津波10m 建物3,400棟全壊
死者620人、上水道支障16,000人
下水道支障4,600人、停電7,900軒
固定電話不通5,700回
避難者 被災1日後 7,200人
被災1週間後 9,100人

研修会参加者数 133名

<p>(サービス区分) 給食サービス事業</p>	<p>広報・啓発活動</p> <p>65歳以上の一人暮らし又は高齢者のみの世帯に対して、配食を行うことにより、食生活の向上と訪問時の安否確認、対話等によって孤独感の解消を図る</p>	<p>【社協だより】</p> <p>平成27年10月7日発行 平成26年度社協事業実績報告・一般会計資金収支決算報告 地域交流事業・サマー福祉体験事業等を記載</p> <p>延べ利用者配食数(年) 14,570食 3月度給食利用者数 週7回 25人、週6回 3人 週5回 3人、週4回 3人 週3回 15人 週2回 7人 週1回 1人 合計 57人</p>
<p>(サービス区分) 地域ふれあい事業</p>	<p>高齢者等の社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ることと併せて生きがいづくりに寄与する</p>	<p>年間実績</p> <p>利用者延べ人数 2,651人 協力者延べ人数 971人 開催総回数 246回 開設箇所数 25か所</p>
<p>(サービス区分) 老人福祉館管理受託事業</p>	<p>川南町老人福祉館の利用申請窓口、施設の維持管理</p>	<p>施設利用者延べ人数 2,742人 主な利用団体 長寿会連合会、長寿会書道部、民舞同好会、元気アップ事業、てまり同好会、地域ふれあい、宝舟会、早朝ヨガ同好会、健康麻雀教室</p>
<p>(サービス区分) 共同募金一般配分金事業</p>	<p>各種福祉事業への支援</p> <p>児童養護施設慰問事業 在宅福祉用品提供事業</p>	<p>【社会福祉大会】</p> <p>期日 平成27年6月7日(日) 場所 サンA川南ホール 300人参加</p> <p>【さわやか老人の集い】(おたっしや会)</p> <p>期日 平成28年3月18日(金) 場所 竹乃屋 72人参加</p> <p>【いきいきさわやか交流大会】</p> <p>期日 平成27年10月21日(水) 場所 川南町運動公園 570人参加</p>

<p>(サービス区分) 共同募金歳末たす けあい配分金事業</p>	<p>児童養護施設慰問事業</p>	<p>【金婚式】 期日 平成27年12月17日(木) 場所 竹乃屋 3組参加</p>
<p>(サービス区分) たすけあい金庫貸付事業</p>	<p>在宅福祉用品提供事業</p>	<p>金鈴学園へ(果物・ケーキ持参)慰問 期日 平成27年12月25日(金)50人 ・プロジェクター購入 ・投薬カレンダー ・その他</p>
<p>(サービス区分) 生活福祉資金貸付事業</p>	<p>資金の貸付は、低所得者のため生計困難であって、その必要な資金の融資を他から受けることが困難な者への自立更生を図る。 貸付限度額 50,000円 償還期限 10か月</p>	<p>貸付状況 生活資金 2件 100,000円 医療資金 2件 100,000円 その他 1件 50,000円</p>
<p>(拠点区分) 居宅介護等事業 (サービス区分) 訪問介護事業</p>	<p>低所得世帯、障害者世帯、又は高齢者世帯に対し、必要に応じた資金貸付を行うとともに、民生委員を通じ必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、加えて在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにする。</p>	<p>平成27年度相談件数 91件 平成27年度償還指導回数 24回</p>
<p>(サービス区分) 寝具洗濯乾燥消毒 サービス事業</p>	<p>身体上、又は精神上的の障害のため日常生活を営むのに支障がある方に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、入浴、排せつ、食事等の身体介護や調理、洗濯、掃除等の家事援助、生活等に関する相談、助言等、日常生活上のお世話をする。 町内に居住する寝具類の衛生管理が困難な高齢者等を対象に寝具類の水洗い及び熱乾燥</p>	<p>利用実績 【予防訪問介護】 実利用者数(月平均) 14名 延べ利用者数(年) 1,127名 【訪問介護】 実利用者数(月平均) 21 延べ利用者数(年) 3,111 職員の資質向上 【ヘルパー定例会】 毎月開催し、意見交換や研修を実施 【1回目】 平成27年6月19日 回収 平成27年6月26日 配布</p>

<p>(サービス区分) ホームヘルプサービス事業</p>	<p>消毒サービスを行うことで、保健衛生の向上や住み慣れた地域社会の中で引き続いて生活するための事業を行う</p>	<p>利用者数 11名 【2回目】 平成27年12月11日 回収 平成27年12月18日 配布 利用者数 16名</p>
<p>(サービス区分) たすけあい福祉サービス事業</p>	<p>概ね65歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯、身体障害者のいる世帯で、基本的な生活習慣が欠如又は対人関係が不成熟等社会適応が困難で身体が虚弱等の理由により自立した日常生活を行う上で援助が必要な世帯に対しての支援を図る。</p>	<p>年間実績 生活管理指導 延べ29件(53時間)</p>
<p>(サービス区分) 訪問入浴介護事業</p>	<p>公的な福祉サービスだけでは対応しきれない高齢者、障がい者等に対して、様々な福祉サービスを提供することにより誰もが安心して暮らすことができる地域福祉・在宅福祉の推進を図る 対象者 要支援認定、要介護認定を受けている方、若しくは身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持されている方</p> <p>在宅で生活される要支援、要介護高齢者等で自宅の浴槽では入浴するのが困難な方に対し、簡易浴槽を自宅へ持ち込み、入浴の介護を行う</p>	<p>年間実績 生活援助 延べ11件(30.5時間) サービス内容 家事に関すること 身体に関すること 相談及び助言</p> <p>【利用実績】 実利用者数(月平均) 6名 延べ利用者数(年) 278</p>

<p>(サービス区分) 障害福祉サービス事業</p>	<p>在宅で生活される障がい者・児等の身体介護・家事の自立支援 また視覚障害により移動に著しい困難を有する方に外出の支援を行う</p>	<p>利用実績 【障害福祉サービス】 実利用者数(月平均) 12名 延べ利用者数(年) 1,300</p>
<p>(サービス区分) 居宅介護支援事業</p>	<p>在宅で生活される要支援・要介護高齢者等のケアプランの提案・作成や保健・医療・福祉サービスとの連絡調整、介護用品・介護機器の紹介、購入の助言や申請代行、住宅改修についての提案・助言・申請代行を行う。</p>	<p>【同行援護】 実利用者数(月平均) 2名 延べ利用者数(年) 19</p>
<p>(拠点区分) 地域包括支援センター事業</p>	<p>在宅で生活される要支援・要介護高齢者等のケアプランの提案・作成や保健・医療・福祉サービスとの連絡調整、介護用品・介護機器の紹介、購入の助言や申請代行、住宅改修についての提案・助言・申請代行を行う。</p>	<p>利用実績 実利用者数(月平均) 83名 延べ利用者数(年) 1,007名</p>
<p>(サービス区分) 地域包括支援センター運営事業</p>	<p>総合相談支援・権利擁護事業・高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し必要なサービスにつなぐこと。包括的・継続的ケアマネジメント支援、高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援すること。介護予防ケアマネジメント、介護予防事業が効果的かつ効率的に提供されるようなケアマネジメントを行う。</p>	<p>困難ケース検討会議(毎週) 24時間連絡体制の確保 計画的な研修の実施</p> <p>別紙「平成27年度地域包括支援センター実績報告」</p>

<p>(サービス区分) 家族介護教室事業</p>	<p>要介護高齢者の状態の維持・改善を図るため、適切な介護知識・技術を習得するとともに外部サービスの適切な利用方法を取得する。</p>	<p>別紙「平成27年度地域包括支援センター実績報告」</p>
<p>(サービス区分) 介護相談員派遣事業</p>	<p>介護保険制度の円滑な実施のために高齢者は良質な介護サービス又は介護予防サービスを適切に選択、利用できるよう介護サービス等に関する環境を整備する。</p>	<p>別紙「平成27年度地域包括支援センター実績報告」</p>
<p>(サービス区分) 生活支援体制整備事業</p>	<p>介護サービス利用者やその家族の介護サービスについての疑問や不安・不満等に傾聴し権利擁護の手助けを行い、介護サービスの質の向上のため、サービス事業者と行政の橋渡しの役割を専門的に担う。</p>	<p>生活支援コーディネーターを配置 別紙「平成27年度生活支援体制整備事業実績報告書」</p>
	<p>益々増加する高齢者ニーズへの対応に向けて、今後、助け合い活動を地域に増やし、足りない社会資源を開発していくこと、地縁型・テーマ型組織の枠を超えた団体のネットワークにより、切れ目のない支援体制をつくっていく。その為に助け合い活動を実施・推進する団体が連携・協働する場（協議体）を設けることが重要である。そういった高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援等サービスの提供体制の</p>	

構築に向けたコーディネーター
機能を果たす事業に取り組む

